

令和3年中収入見込額申告書

(様式1)

主たる生計維持者 氏名	肥後 太郎	世帯主との 続柄	本人
----------------	-------	-------------	----

※申請月の前月分までは確定している金額を、申請月以降は見込みの金額をご記入ください。

	<input checked="" type="checkbox"/> 給与収入 <input type="checkbox"/> 事業収入 <input type="checkbox"/> 不動産収入 <input type="checkbox"/> 山林収入	<input type="checkbox"/> 給与収入 <input checked="" type="checkbox"/> 事業収入 <input type="checkbox"/> 不動産収入 <input type="checkbox"/> 山林収入
1月	給与は実際に支給された 月が「該当月」になります。	
2月		収入金額を記入してください。 ※給与収入は各種控除を差し引く前 の総支給額、それ以外の収入は必要 経費を差し引く前の売上げの総額 ※国や県から支給された給付金等は 除いて記入(給付金等の収入は計 算に含みません。)
3月		
4月		
5月		
6月		
7月		申請月以降の収入額に関しては 『雇用元が休業中で再開の目途が たらず無給のままである』などの 場合は0円と記入してください。
8月		
9月		
10月		
11月	収入見込額は、減免申請時点の金額で記入してください。	
12月	減免申請後、見込額に変更があった場合でも、ご連絡の必要はありません。	
賞		
合計額	円	円

年間収入見込額合計	円
-----------	---

国や県から支給された各種給付金 (持続化給付金等)の有無 (有の場合、その金額)	令和2年中	有・無	1,000,000	円
	令和3年中	有・無		円

※有の場合は、給付金決定通知書や収入の内訳がわかる確定申告書Bの第二表または収支内訳書を添付してください。
※給付金は課税対象となっているもののみ記載してください。(例)持続化給付金、家賃支援給付金、休業要請協力金 等
(特別定額給付金、子育て世代への臨時特別給付金、ひとり親世帯臨時特別給付金等は非課税対象のため記載不要)

【令和3年中の収入について】

上記の「令和3年中の給与収入、事業収入、不動産収入または山林収入」は、令和3年12月末までに
見込まれる収入を含んだ額です。

(例1) 自営業をしており、1月と2月までは月50万円の収入があったが、3月は30万円、4月以降は10万円に
減少し、今後も10万円ほどの見込みの場合。

[令和3年中の収入]=50万円×2ヶ月(1月,2月)+30万円(3月)+10万円×9ヶ月(4月~12月)=220万円

(例2) アルバイトで、1月から3月までは月20万円の収入があったが、4月は半減(10万円)。その後退職し、
現在求職中だが、就職の見込みがない場合。